

広島記念病院を受診された患者さま、研究対象者のみなさまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

以下の臨床研究に関しては、個人情報情報を匿名化した上で学会、研究会等への利用を行わせていただいております。

内容をご確認いただき、研究対象者となることを希望されない方は各臨床研究の連絡先までご連絡ください。

研究課題名	オキサリプラチン投与時の血管痛軽減に向けた上腕静脈確保の有効性
研究責任者 (所属科名)	沖本 由布子(看護部)
本研究の目的・意義	<p>オキサリプラチンによる血管痛は、単なる疼痛にとどまらず、穿刺部位周辺の皮膚のしびれ感(異常感覚)を伴う強い苦痛を引き起こします。本来、血管痛回避のためには太く血流の豊富な血管の選択が推奨されますが、化学療法の継続により末梢血管が脆弱化した患者では、適切な血管確保が困難となります。</p> <p>当院では、末梢静脈の確保が困難な患者さんに、特定行為看護師がエコーガイド下で上腕静脈確保を実施しています。エコーガイド下穿刺は、視診や触診では確認が困難な血管を可視化できるため、深部かつ血管系の太い静脈への確実なアクセスが可能となります。実際に、当院で上腕静脈からオキサリプラチン投与を行ったところ、投与中の血管痛が軽減したという報告もありました。</p> <p>そこで本研究では、オキサリプラチン投与時の血管痛に対する対策として、上腕静脈からの投与が末梢静脈投与と比較して、どの程度血管痛を軽減するかを明らかにします。血管痛対策として、上腕静脈からの薬剤投与の有効性が示されれば、今後、オキサリプラチンの投与を受ける患者さんの苦痛軽減の一助になると考えます。</p>
研究予定期間	倫理審査委員会承認後～2027年3月31日
該当資料・データ	
個人情報の取扱い	「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づいて患者さんのプライバシーを守るよう努めています。結果の発表に際しては個人が特定できるような情報は掲載しませんので、患者さんの個人情報外部に漏れることはありません。
共同研究機関	なし
本研究の資金源 (利益相反)	なし
お問い合わせ先	看護部 看護次長 沖本由布子